

文芸 コーナー

詩・俳句

今回の児童・生徒のコーナーでは、東陽小のお友達の作品を紹介します。



6 年
山崎美千代

「ヨイ、ドン！」
ピストルがなった、
みんないっせいにかけ出す
足、足、足……
みんな いっしょうけんめい走る
私も、負けずに走る
はっはっはっ
息をきらしながら むちゅうで走る
やっと折り返し地点だ。
(あと半分、あともう少し)
自分がいい聞かせる
はっはっはっ

道の両はじで、おじさん、おばさん
が応えんしてくれている
はっはっはっ
苦しい
心ぞうが、やぶけそうに痛い
一人、二人
私を追いこしていく
はっはっはっ
やっとゴールがみえてきた
まけるものか まけるものか
まわりの声えんも、かけ声も
もう耳にはいらぬ
ただ走る
ひたすら ゴールめざして走る
はっはっはっ



6 年
新井 孝志

ディズニールランドの
海賊船
トッペン、トッペン
ぼくらのせた、たんけん船
暗やみの中 ゆらゆらゆれる豆電球
はたるのようだ
首しかない人が はなしかける
「わあ——」
ぼくらの船が たきからおちた
ゴーゴー すごいスピード
わっ ミイラだ！
サーベルで岩にくぎづけにされた骨
その上に 鳥が巣をつくっている

不思議な鏡



6 年
菅原由里江

火をふくたいほう
いさましい カリブ船長のしき
「行け 行け まけるな！」
いつの間にか むちゅうになつてさけぶ
ぼくらのせて
ディズニールランドの 海賊船は
ぶきみなどうくつをぬけて
たんけんの旅をおわった
水たまりは 不思議な鏡
まっ白な雲がうつっている
熊野神社の森の木が
赤や黄色で美しい
水にうつった私の顔は
目、鼻がぼけて
お化けみたい
風もないのに かみの毛が
ゆらゆらゆれている
水たまりは 不思議な鏡
すすきの穂もかれた葉も
おとぎの国のような
景色にうつしちゃう
でもそっとしておかないと
あつという間に
ふにやふにやとこわれちゃう

木立ち



6 年
宮川さち子

水たまりは不思議な鏡
ひらひらと葉が踊る
ドレミの歌に合わせる様に一枚ずつ落ちて
集る。
楽しそうに。楽しそうにまい踊る。
なぜか、私もゆかになる。
寒い空気の中にもふと、暖かな気持ちにな
る。
不思議だなあ
葉が枝が私に、呼びかけているみたい。
「踊りましょ。さあ、楽しく踊りましょ。」
肩に、頭に、ひらひらとまい散る。
赤、緑、黄色と音を表す様に……
その中で、風が、易しく、包みこんでくれ
た。
「おはよう。」
この言葉で 一日が始まる。
さわやかな朝に、
ぴったりの言葉……



6 年
大木 恵久

あいさつ

お父さん・無事故でいいの・おみやげは…